

# 選挙公報



さらなる飛躍

公式HP  
公開討論会  
Youtube

## 1 日本一 子育てしやすいまちづくり



- 子どもの給食費・保育料・医療費の完全無償化
- こどもがのびのびと遊べる全天候型の遊び場の整備
- 妊産婦や子育て世代の不安を解消し、孤立化・児童虐待の予防
- こどもの個性やニーズに合わせた子育て支援
- 不登校の児童生徒への多様な学びの場の確保

## 2 災害に強く住み心地のよいまちづくり



- 太平川、旭川、古川などの河川の整備
- 内水被害を防ぐ雨水幹線などの整備
- 地域防災計画の見直しによる災害対策の強化
- 新スタジアムの早期整備
- 外旭川地区におけるAI・ICTなどの先端技術を活用したまちづくり
- 市民市場の魅力アップ支援
- 文化や歴史などの地域資源を活かした観光振興施策の推進
- 健康寿命日本一の実現
- 持続可能で快適な公共交通の実現

## 3 働きやすく働きがいのあるまちづくり



- 企業誘致の促進による地域経済の活性化と雇用の創出
- 若者や女性の地元定着、帰郷の促進
- 卸売市場の再整備
- 再生可能エネルギーの導入など、ゼロカーボンシティの実現
- 洋上風力発電への地元企業参入と新エネルギー関連産業の集積

市民との約束2025

## 次の世代へ 秋田市の未来を 託すために。

秋田市長として積み重ねた経験や知見を活かし、市民とともに「私たちの秋田市」をよりよくするため、さらなる飛躍を遂げるという強い決意のもと、全身全霊で市政運営を行っていく覚悟であります。



子どもを生き育てやすい環境づくり  
こどもの給食費・保育料の  
医療費の完全無償化!!



# ほづみもとむ



停滞から、前進へ。

プロフィール/昭和48年 秋田市仁井田生まれ。仁井田小学校、御野場中学校、秋田南高等学校卒業。秋田大学教育学部を卒業後、秋田県庁に入庁。秋田の現状を打破するため、一念発起し、政治の道へ。県議会議員を経て、この春、秋田市長選挙に再挑戦。秋田市横森在住。

# 30万都市の復活へ

市民の皆さまとの約束

私たちが暮らす秋田市は、東北では4番目に人口が多く、産業や文化、まちづくりなどにおいて、多くの可能性と魅力を持っています。しかし、現在の市政は、外旭川地区の開発やスタジアム整備などで二転三転するなど、停滞が続いており、残念ながら人口減少や若者流出にも歯止めがかかっていません。やはりそこには4期16年という多選の弊害が出ているのではないのでしょうか。私は4年前に秋田市長選に挑戦し、力及ばず敗れました。再挑戦は前回以上の覚悟と努力が必要でしたが、再び敗れたときには限界から引退する覚悟を持って、今度こそ停滞する今の市政を市民の皆さまと共に前進させていく決断をしました。人口30万人を割り込んでしまった県都秋田市をもう一度「30万都市」に戻すため、私の全てを賭けて政策を実行してまいります。市民の皆さまにも、これまでの市政に対して、届かなかった思いや声が沢山あるのではないのでしょうか。そうした思いや声を私が必ずかたちにして、解決につなげてまいります。停滞から前進へ。皆さまと共に今度こそ。

沼谷純

## 1. 物価高騰などへの家計支援と ゴミ袋有料化の検証・見直し

## 2. 給食費・医療費・保育料の 完全無償化を実現

## 3. 高校生・大学生の 地元就職応援金を支給

## 4. 年平均3.4件から20件へ 企業誘致を現在の5倍に

## 5. ハード・ソフト両面での 防災対策の強化とスピードアップ



公式Webサイト  
公式SNSはこちらから



# 沼谷純

ぬまや じゅん

## 秋田市長選挙



投票日  
4月6日(日)

期日前投票は  
4月5日(土)まで

市長選の詳細は  
<https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/senkyo/1043758/1043759.html>



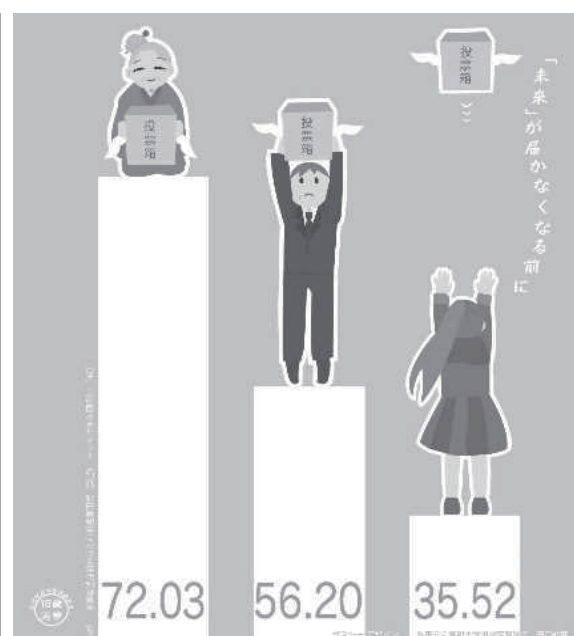
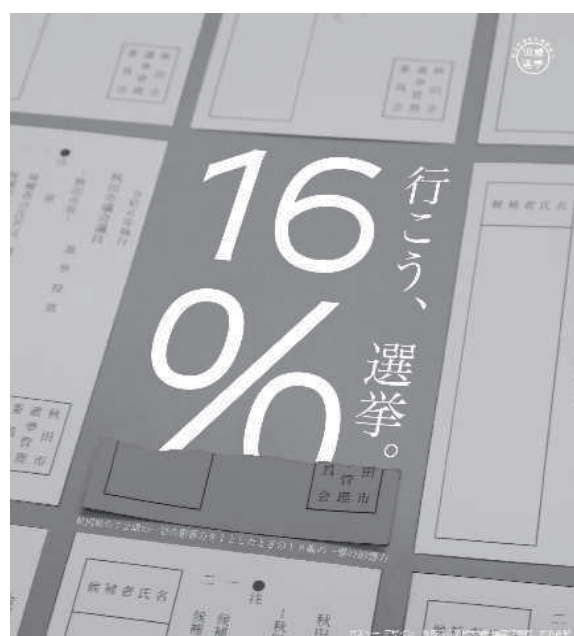
秋田市選挙管理委員会/秋田市明るい選挙推進協議会 ☎018-888-5786

秋 田 市 長 選 挙

# 選挙公報

令和7年4月6日執行  
秋田市選挙管理委員会

《秋田公立美術大学附属高等学院ビジュアルデザインコース2年生制作の啓発ポスター》



<期日前混雑状況>



<当日混雑状況>

## 秋 田 市 長 選 挙 投 票 日 4月6日(日)